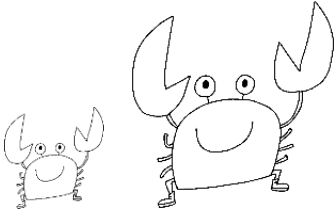




7月

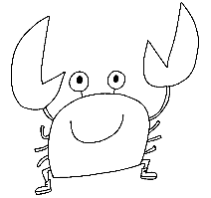
# 学校だより

令和4年6月30日  
横浜市立八景小学校  
〒236-0021  
横浜市金沢区泥亀1-21-2  
☎ 045-781-2434  
校長 中川 琴似



## 手ごたえが返ってくる喜び

副校長 帯川 理加



例年になく早い時期に梅雨が明けて、真夏の暑さが連日続いています。そんななか、休み時間の外遊びを制限したり、こまめな水分補給や屋外でマスクを外すことなどを声かけしたりして、熱中症にならないよう注意しながら教育活動をしています。

最近、朝登校すると真っ先に自分たちが育てている野菜に駆け寄り様子を確認している2年生の姿が見られます。この暑さで水が不足してしおれている野菜に、懸命に水やりをしています。子どもが水をやると、野菜が目に見えて生き生きとしてきます。愛情を注いだことが、相手から手ごたえとして返ってくる喜びは、教育と似ているなあと感じます。ただし、教育の場合は、時間をおいて手ごたえが返ってくることもあり、それもまた喜びです。

さて、八景小では6月12日(日)・13日(月)に4年生が野島宿泊体験学習に行ってきました。4年生が宿泊で体験学習をするのは三年ぶりになります。当日は風が強いため、カヌー体験ができず、晴れているにもかかわらず、雨天プログラムになってしまいました。しかし、子どもたちは残念がるのではなく、やれることを存分に楽しんでいました。特に日曜日の学校でのレクリエーションは、自分たちで学校を独占する特別感もあり、心に残ったようです。

野島公園でも数々のプログラムを体験しました。暗くなるのを待って始まったナイトウォークでは、懐中電灯の明かりを頼りに公園内を歩き回りました。グループの仲間がいる心強さもあり、ちょっとスリルがある夜の雰囲気を楽しんでいました。朝の集いでは、みんなで体操をし、元気に二日目のスタートを切りました。司会の人に反応して、学年みんなで盛り上げている姿がとても素敵でした。カニ釣りをする頃は、ちょうど潮が引いていたため、カニやヤドカリ、小魚などたくさんの生き物を見つけることができました。最初はスルメをわりばしにつけて釣ろうとしていましたが、夢中になるうちに靴が濡れることも気にせず、手でつかんで捕まえていました。海ならではの活動を満喫していました。最後は、公園内のフォトラリーをしました。前日に暗いなかで歩いたところも、昼間歩くと、きれいに咲き誇る紫陽花や木々の緑、海の青さなど、改めて自然のよさを感じたようです。また、二日間いっしょに活動してきたグループだからなのか、相談し協力することも上手になっていました。

考えてみれば、野島公園も八景小の子どもたちにとっては馴染みのある場所だと思います。ですが、おうちの人とは離れて、友達と泊りがけで出かけるとなると、わくわくしたり、どきどきしたりしていたのではないのでしょうか。どこに行くかよりも、だれとどんな体験をしたかの方が、子どもの思い出になるのかもしれない。たった二日間でしたが、4年生がたくましくなったように感じました。そんな手ごたえがあるからこそ、体験学習に意味があるのだと思います。